

平成 26 年 4 月 13 日 おぐにコミセン オープニングセレモニー

本日は大変よい日和になりました。小国は春が一番いいですね。

今日、渋海川の鉄橋を渡りまして、小国に入ってきましたら、春だなという感じがしまして、大変気分がよくなりました。おかげで日頃のストレスが全部解消しました（笑）。

平成 24 年 4 月に小国地域総合センター「だんだん」がオープンして以来、住民の皆さんや団体が集まり、誰もが自由にアイデアや夢を語り合える場「地域づくり交流会」や「ごつつお大集合」や「ポニーフェスティバル」など様々なイベントを企画して、大変活発に利用いただいています。

そして、本日、「だんだん」の運営を一步進め、皆さんの創意工夫がより活かすことができる「おぐにコミュニティセンター」がオープンすることに、私も大変喜んでおります。

小国は、住民の皆さんの活動が活発な地域だと思っています。先月「おぐに折り紙アート」の皆さんがホノルルに行った際、言葉も通じないのに身ぶり手ぶりで折り紙を教えてくださいましたら大人気になりまして、持っていった二日分の折り紙が一日でなくなりました。そこで、皆さんは工夫しまして、二日目は新聞紙を使ってカブトを披露し、これも大人気になりました。これは一例ですが、コミュニティセンターも大変よい活動になるのではないかと期待しています。

■楽しみながら好きに使うのがコミュニティセンター

おぐにコミセンは、センター長に加え新規に常駐職員 3 人を配置し、さらに、わずかですが自由に使える予算を補助し、皆さんの創造力あふれる自由な活動をサポートします。ですので、皆さんで大いに工夫し、楽しみながら、使っていただきたいと思います。皆さんが楽しみながらやるのが一番大事なことです。使い方について行政のほうから一切申し上げませんので、好きに使っていただくというのがコミュニティセンターです。

■相互に刺激し合うことが本当の合併効果

コミュニティセンターは合併前の旧長岡でありまして、合併して小国に広まってきたわけです。それを小国の皆さんがさらに使いこなして、こんなにコミュニティセンターを活用しているぞというのを、旧長岡やほかの合併地域に返していただきたいと思います。相互に刺激し合うことが本当の合併効果であり、そういうコミュニティセンターに成長していただきたいと思います。

心から期待をしているということを申し上げまして、私のお祝いのご挨拶とさせていただきます。